



# 2018年度 環境経営レポート

株式会社山田製作所

50期:2018.02~2019.01

作成:2019.4.8 / 更新:2019.6.12

# …ごあいさつ…



ただの金属加工物ではなく  
お客様の想いを形にします



小さいモノ〜大きいものまで  
幅広い加工能力で対応いたします



50年の確かな技術力で  
高品質を保証いたします



加工進捗お知らせサービスで  
お客様に安心して頂きます

まもなく平成から元号に変わります。世の中は新しい時代を迎えます。  
株式会社山田製作所も1959年(昭和34年)に大阪都島区で創業し、そして1969年(昭和44年)今の東大市で法人に改組し設立しました。今年創業60周年(設立50周年)を迎えます。100年を目指して新たな時代に一步踏み出すのです。働く環境づくりにも力を注ぎ、効率的で生産性の高い会社に変化しなければなりません。当社の特徴である徹底した3S活動を通じて環境課題にも貢献していきましょう。

株式会社山田製作所  
代表取締役社長

山田 茂



## ∴ 経営理念 ∴

**「私達は、モノづくりを通じて社会に貢献する  
文化型企業を創ります」**

## ∴ 行動理念 ∴

- 一、感謝の誠心で人と人とのつながいを大切にし、研鑽を高め自己実現を成し遂げます。**
- 一、私達がつくり出すモノは、豊かな社会創りを担うものであり、それを誇りとします。**
- 一、感性を高め、時代の変化に対応し、顧客の満足と信頼関係を追求し続けます。**

## ∴ 品質方針 ∴

### [ 品質方針 ]

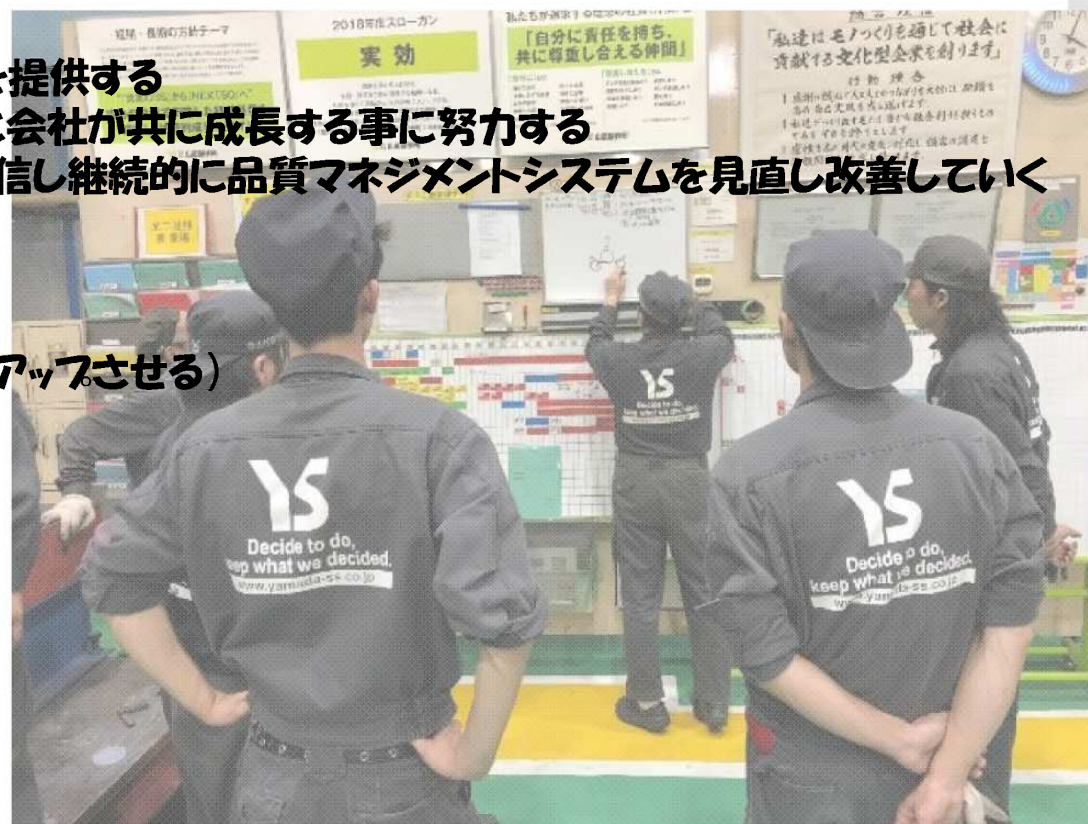
図面の向こうに見える、最終ユーザーの満足を追求する

- 顧客の満足を追求するために高品質な製品を提供する
- 継続して高品質な製品を提供する為に個人と会社が共に成長する事に努力する
- 成長することが企業文化を創造することと確信し継続的に品質マネジメントシステムを見直し改善していく

### [ 品質目標 ]

1.スキルマップ取得率 53%  
(49期スキルマップ取得率50.3%に対して3%アップさせる)

2.人事生産性 3,727円/作業時間 以上



## ∴ 環境方針 ∴

### [ 環境方針 ]

当社理念に謳っている「感謝の誠心」の意味の中に“自然に感謝”がある。  
この理念を追求するために、全ての事業活動において地域環境・地球環境に感謝し、  
そして保全活動を自主的・積極的に追求する。

### [ 環境行動 ]

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| (1)地球温暖化物質の削減    | (2)資源の有効利用         |
| (3)廃棄物の削減        | (4)環境関連法規の遵守       |
| (5)EA21EMSの継続的改善 | (6)原料及び事務用品のグリーン購入 |
| (7)環境に配慮した製品の販売  |                    |

### [ 明るい宣言 ]

私達は、日本一明るい「共に育ちあう」企業をつくれます。



制定日：2005年6月12日／改定日：2015年6月26日

代表取締役社長

山田 茂

## ∴ 組織の概要 ∴

### [ 名称及び代表者名 ]

株式会社山田製作所  
代表取締役社長 山田 茂

### [ 所在地及び連絡先 ]

〒574-0056 大阪府大東市新田中町2-41  
TEL:072-871-0095 / FAX:072-871-3103  
Mail:info@yamada-ss.co.jp  
URL:https://www.yamada-ss.co.jp/

### [ 環境管理責任者氏名及び担当者 ]

環境管理責任者:大西 健治  
環境事務局:富尾 美結

### [ 事業の規模 ]

社員数:18名(2019年4月現在) / 延べ床面積:740㎡  
売上高:3億円

### [ 事業年度 ]

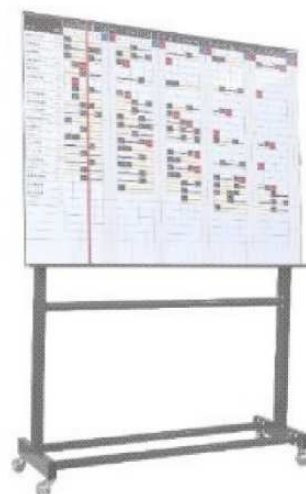
2月~1月

### [ 認証範囲 ]

全社全活動



# :: 組織の概要 ::



ワイデクル管理ボード



ワイデクルパルフェ帳



ちよくれポ

## 【事業内容】

### 製缶・板金

- 圧力容器
- タンク
- ホッパー
- 機械フレーム架台
- 機械カバー

### 乾燥機部品

- 保温パネル
- 保温扉
- 吹出ノズル
- コンベアプレート
- ダクト・ダンパー等

### 乾燥機及び炉

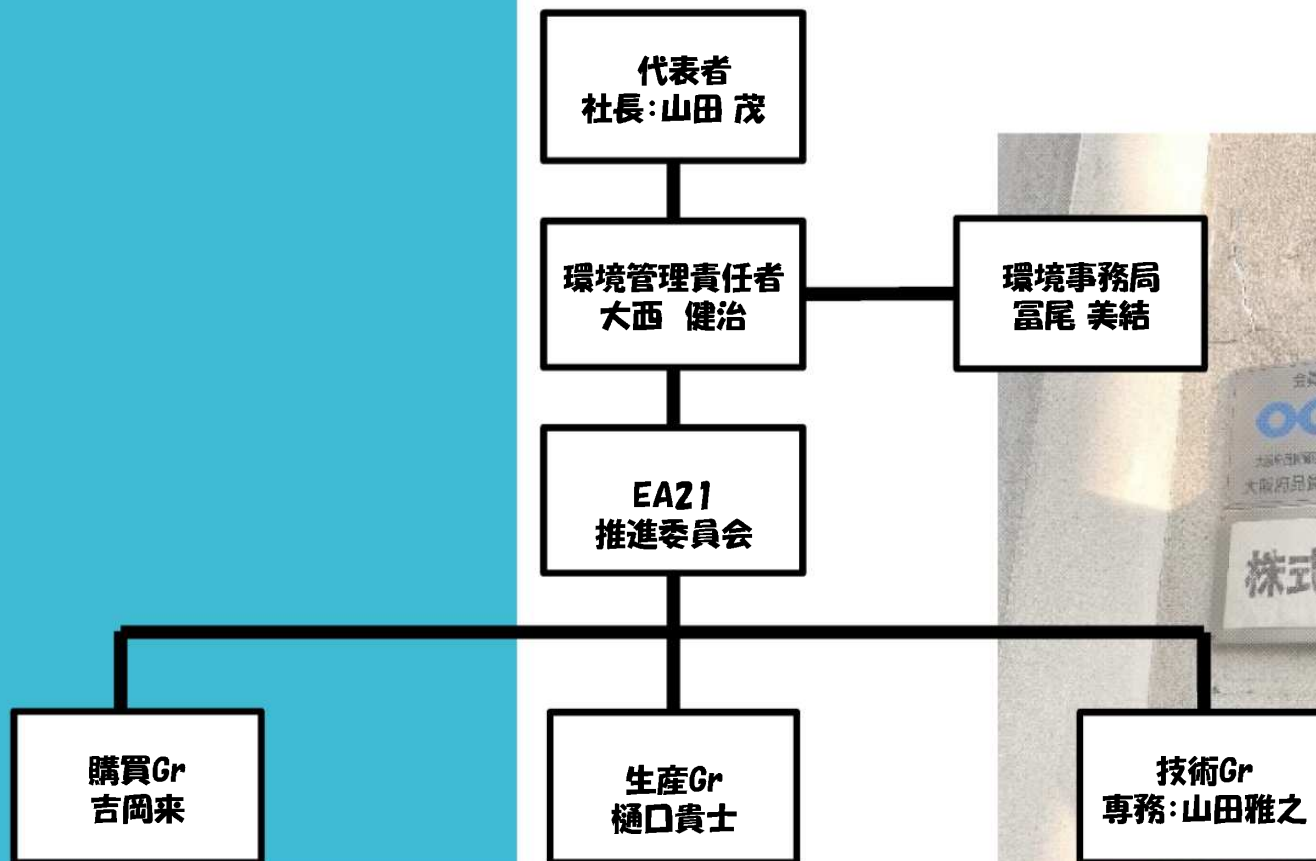
- 並行流乾燥機
- バンド式乾燥機
- フィルム乾燥機
- 粉体乾燥機
- 加熱炉

### 設計開発製品

### ワイデクル事業(自社商品)

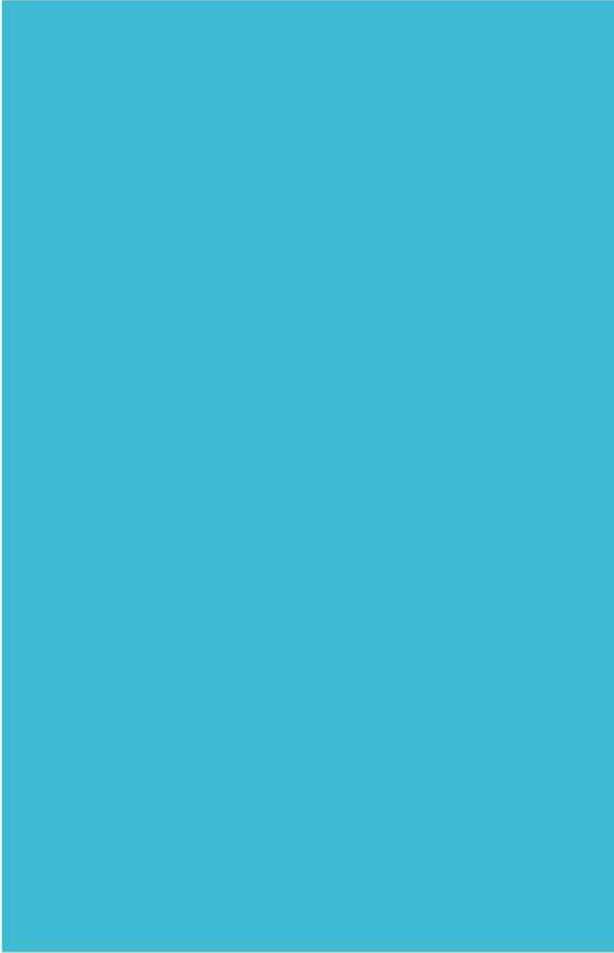
- ワイデクル管理ボード
- ワイデクルパルフェ帳
- ちよくれポ

## :: 環境管理体制図 ::





## ⋮ 役割責任権限表 ⋮



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

更新日：2018年4月2日

## … 設備一覧 …

- ・NCシャーリングマシン 46×3100mm
- ・NCプレスブレーキ 3100mm・2550mm
- ・NCセットプレス 500mm×2000mm
- ・パワープレス 100ton~15ton
- ・メタルソー
- ・旋盤 6尺
- ・フライス盤 2#
- ・直立ボール盤
- ・卓上ボール盤
- ・ベンディングロール
- ・スポット溶接機
- ・TIG溶接機
- ・CO2溶接機
- ・交流アーク溶接機
- ・エアークラスマ切断機
- ・ポジショナー
- ・ターニングローラー
- ・天井ホイストクレーン2.8ton
- ・2次元CAD
- ・3次元板金CAD

NCプレスブレーキ



NCシャーリングマシン

NCプレスブレーキ



# 表彰・資格・認定

- |                            |          |
|----------------------------|----------|
| ▶ ISO-9001認証取得             | 2002年6月  |
| ▶ 経営革新支援法認定                | 2004年9月  |
| ▶ エコアクション21認証取得            | 2005年10月 |
| ▶ 大阪府品質管理推進優良企業表彰          | 2006年3月  |
| ▶ 大阪府ものづくり優良企業表彰           | 2009年3月  |
| ▶ 関西ものづくり優良企業100選認定        | 2009年3月  |
| ▶ 経済産業省 元気なモノづくり企業300社表彰   | 2009年4月  |
| ▶ 大阪府中小企業家同友会 経営品質大賞受賞     | 2009年4月  |
| ▶ 関西IT百撰入選                 | 2010年10月 |
| ▶ キャリア支援企業表彰中央職業能力開発協会長奨励賞 | 2012年12月 |
| ▶ (社)日本設備管理学会 ものづくり大賞受賞    | 2014年5月  |
| ▶ 大阪府男女いきいき元気宣言事業者採択       | 2014年12月 |
| ▶ 第一回学生に教えたい働きがいある企業大賞奨励賞  | 2018年9月  |

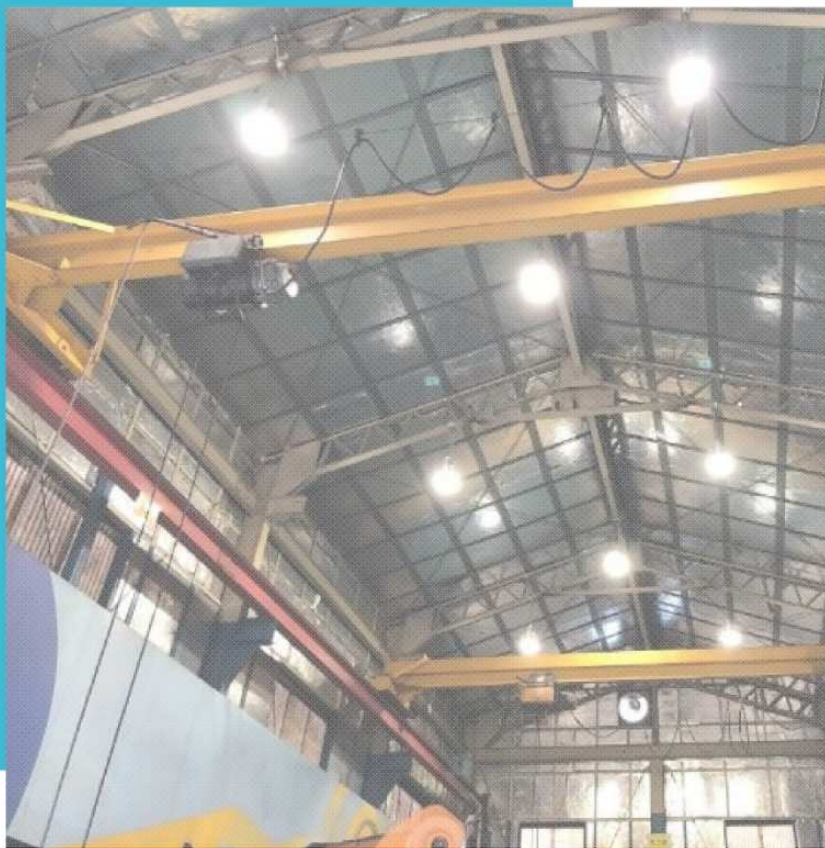
## ::: 主な環境負荷の実績 :::



項目	単位	2016年	2017年	2018年
二酸化炭素排出量	kg-CO2	71,974	71,380	63,232
一般廃棄物	トン	1.51	2.15	1.93
総排水量	m <sup>3</sup>	226	207	203
グリーン購入	%	33%	40%	21%

- \* 電力の二酸化炭素排出量換算値: 0.532 kg-CO<sub>2</sub>/kWh
- \* 二酸化炭素排出量はエネルギー総量のデータ
- \* 一般廃棄物は可燃ごみを対象
- \* グリーン購入は、2016年度よりエコ商品購入金額比率(%)に変更

## ::: 環境目標及びその実績 :::



項目	年度	基準年	2018年		2019年	2020年
		基準値	目標	実績	目標	目標
電力 (kg-CO2)	2017年					
		50,620	48,089	40,955	48,596	48,089
自動車燃料 (kg-CO2)	2017年					
		18,469	18,100	19,796	17,836	17,652
一般廃棄物 (t)	2017年					
		2.15	2.04	1.93	2.00	1.94
総排水量 (m <sup>3</sup> )	2017年					
		207	196	214	159	159
グリーン購入 (%)	—					
	30%	30%	21%	30%	40%	
エコポイント (ポイント)	—					
		240	390	240	240	

\* 電力の二酸化炭素排出量換算値: 0.355 kg-CO2/kWh

\* 電力はLED導入前の2017年を基準年度とする

\* 可燃ゴミの質量計算は10kg/袋を実質量として計算する

\* 灯油は負荷が少ないため目標としない

\* 事業活動に伴う産業廃棄物の発生は金属スクラップ: 売却、木材パレット: 材料メーカーへ返却

\* 廃プラスチック: 少量のため一般廃棄物に含む

## :: 環境活動計画及び取組結果とその評価・次年度の取組内容 ::

取組み計画	達成状況 (基準年度比)		評価 (結果と今後の方向)
<b>[ 電力の削減 ]</b>	基準年度(2017年)		◀ 目標 <b>達成</b> ・未達成 ▶
デマンド値管理 不要照明の消灯 クールビズ運動 設備の空運転防止 工程ロス削減による稼働時間短縮 エアコン使用ルールの徹底 水銀灯変更時はメタルハライド型を採用 徹底した3S レイアウト変更 電灯類の節電表示・標識	50,620	kg-CO2	<p>・目標対比: ▲19%</p> <p>・契約デマンド値: 66→66kW 使用電力量(昨年対比): 95,151→76,984kWh</p> <p>1年間を通じて月次目標が未達だったので2回でしたので、LED化の効果が出ました。年間累計、2割削減が効果の表れです。 次年度は削減率を15%に設定します。</p>
目標	48,089	kg-CO2	
実績	40,955	kg-CO2	
削減率	▲19	%削減	
<b>[ 自動車燃料の削減 ]</b>	基準年度(2017年)		◀ 目標 <b>達成</b> ・未達成 ▶
アイドリングストップ 急加速・急停車の防止 冷暖房の控え目使用 燃費マーク付きの車の購入(更新時) 近場への買い物時は、使用を控える 徹底した3S	18,469	kg-CO2	<p>・目標対比: +8</p> <p>・1年を通して目標を達成出来なかった理由に年間の売上が上昇し、納品等で使用量が増加したと思われる。分納も大切ですが、出来るだけ納品回数も抑えられるように今後は努力していきたい。 次年度は再度削減率を2%にします。</p>
目標	18,100	kg-CO2	
実績	19,794	kg-CO2	
削減率	+8	%超過	



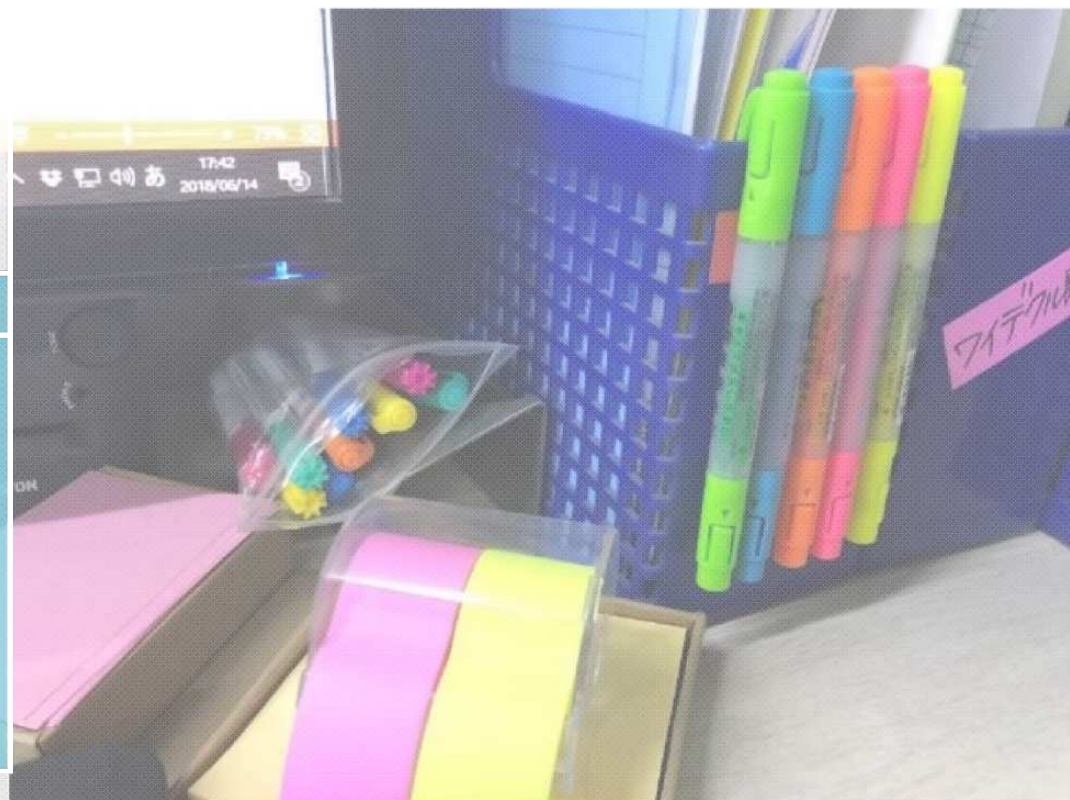
## :: 環境活動計画及び取組結果とその評価・次年度の取組内容 ::



取り組み計画	達成状況 (基準年度比)	評価 (結果と今後の方向)
[ 一般廃棄物の削減 ]	基準年度(2017年)	《 目標 <b>達成</b> ・ 未達成 》
裏紙使用 ミスコピーの防止 分別による古紙のリサイクル化 古紙のリサイクル封筒作り(山陽製紙協力) 帳票見直しによる印刷物の削減 両面印刷 徹底した3S コピー用紙のリユース(山陽製紙(株)カミデコ)	2,150 kg  目標 2,043 kg 実績 1,930 kg 削減率 ▲10 %削減	・目標対比: ▲10%  1年間を通じて月次目標が未達だったのが3回でしたので、一人ひとりが意識したことが伺える結果だと思います。 次年度は削減率を10%にします。
[ 水道水の削減 ]	基準年度(2017年)	《 目標 <b>達成</b> ・ <b>未達成</b> 》
節水呼びかけ 節水弁取付け 徹底した3S 節水を促す掲示物の貼り付け	207 m  目標 196 m 実績 214 m 削減率 +4 %超過	・目標対比: +4%  今季は目標達成月が4回しかなく、目標を達成することが出来ませんでした。仕事内容により使用量が増えてしまうという原因もありますが、一人ひとりが節水を意識していく必要がある結果になりました。 次年度は削減率を5%に再設定します。

## :: 環境活動計画及び取組結果とその評価・次年度の取組内容 ::

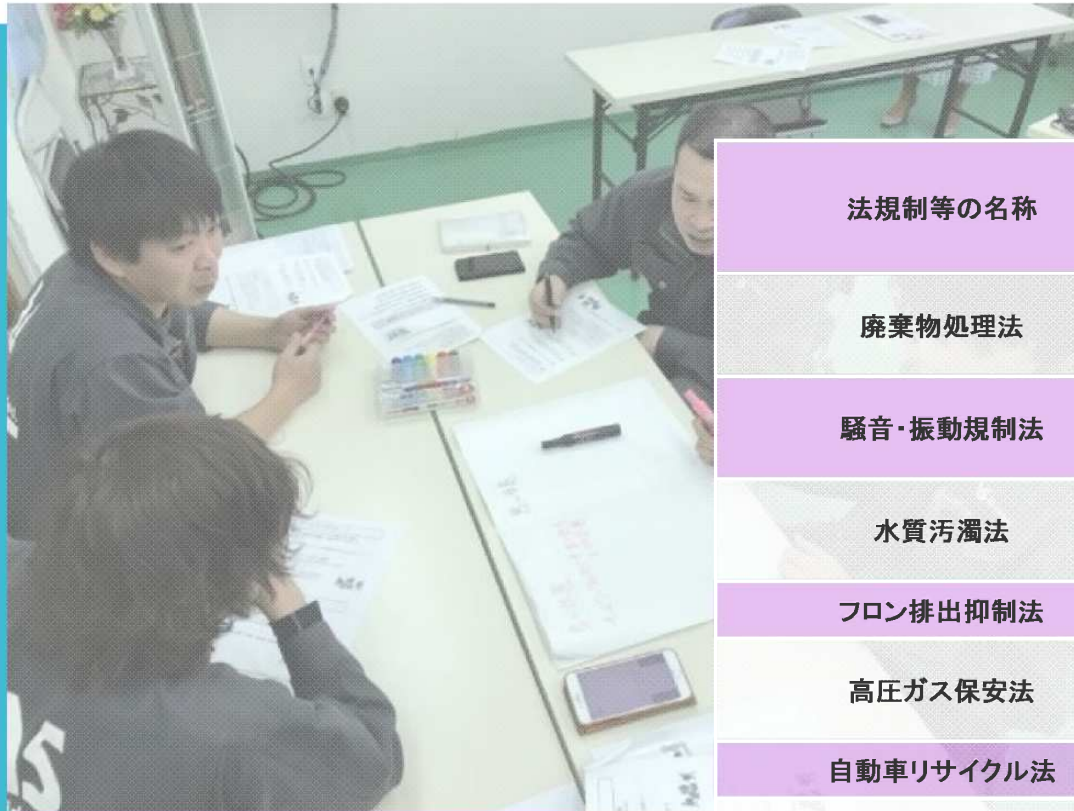
取り組み計画	達成状況 (基準年度比)		評価 (結果と今後の方向)
<b>[ グリーン購入 ]</b>	目標		◀ 目標 達成・未達成 ▶
・現在、購入しているグリーン商品と別に新たにグリーン購入に変更していく ・事務用品、家電、車両など会社で使用する物をグリーンにしていく  集計方法は、グリーン商品購入金額／購入総額にて購入金額の率で表す	30	%	・1年間を通じて下半期は月次目標を3回達成出来たものの、累計で21%と目標には達成出来ませんでした。但し、エコ商品を意識して購入することは出来ていました。 次年度はガイドライン改定より廃止する。
	実績	21	
<b>[ エコポイント ]</b>	目標		◀ 目標 達成・未達成 ▶
YMS会議での討議 徹底した3S ポイント内訳 ・エコに繋がる行動(自転車通勤など)5P ・エコに繋がる活動(古紙分別など)10P ・環境を意識した活動(地域清掃など)10P ・その他・環境に関わる活動(外部からの勉強会など)20P	240	ポイント	・目標対比:-20.8%(-50ポイント)  ・今季は目標を達成しましたが、地域清掃が年計画で4回に関わらず、2回しか開催できませんでした。但し、古紙回収の分別が出来しっかりと回収して貰える事が出来ていました。  次年度重点項目 ・スキルマップからのエコポイント制度改革
	実績	390	



\* 以上の6項目は、次年度も継続して取り組む



## :: 環境関連法規制等の遵守状況 ::

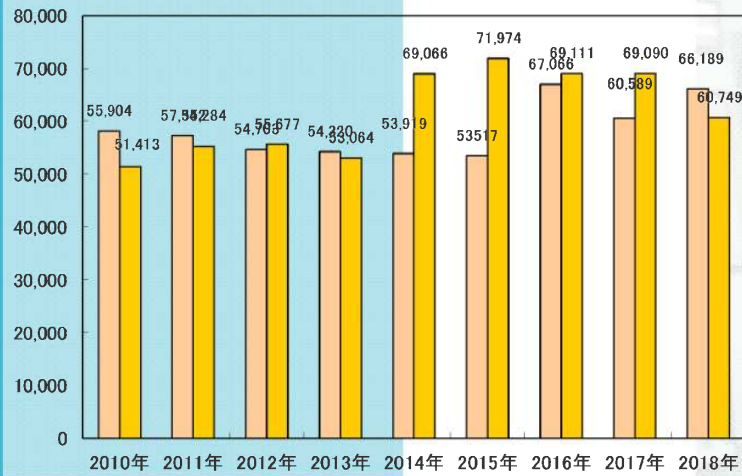


法規制等の名称	該当する施設等	関連条例による規制	環境関連法規制への違反、訴訟の有無
廃棄物処理法	一般廃棄物 (紙・木くず・生ごみ等)	12条3項 規則8条の2	無
騒音・振動規制法	空気圧縮機(5.5kW 1台) せん断機(11kW 1台)	大阪府条例	無
水質汚濁法	塗料置場潤滑油置場 灯油置場	—	無
フロン排出抑制法	業務用空調機	—	無
高圧ガス保安法	ポンベ類の転倒防止 40℃以下、警戒標など	—	無
自動車リサイクル法	自動車	—	無
消防法	シンナー 20ℓ 灯油 100ℓ以下	市町村火災予防条例	無
大阪府生活環境の保全等に関する条例	軽四輪を除く商業ナンバー(4ナンバー)車	大阪府が交付する適合車等、標章の表示	無

✓ 環境関連法規制等の遵守状況の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。  
また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

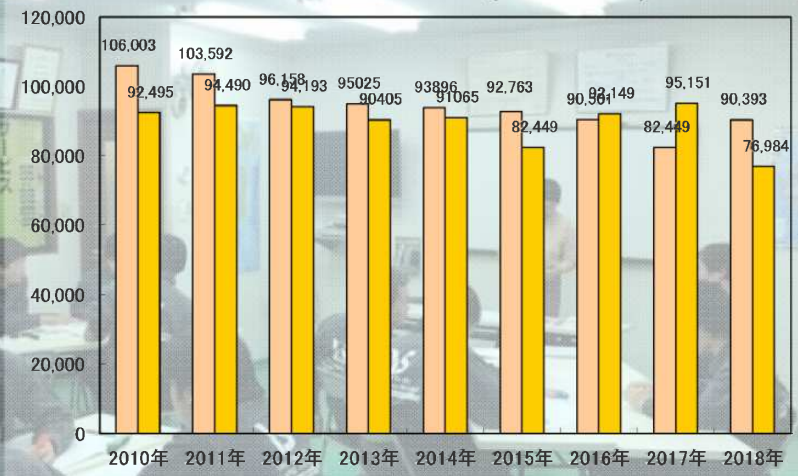
# 年度目標と実績推移表

電力・自動車燃料二酸化炭素排出量(kg-CO2)

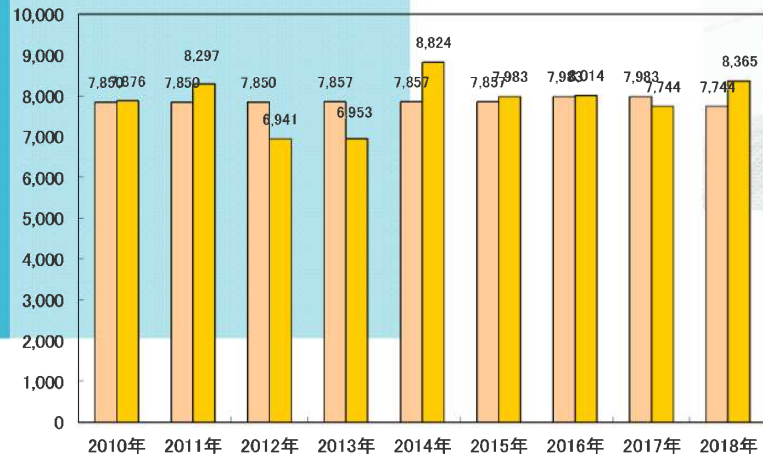


徐彦平

消費電力(kWh)



使用自動車燃料(L)

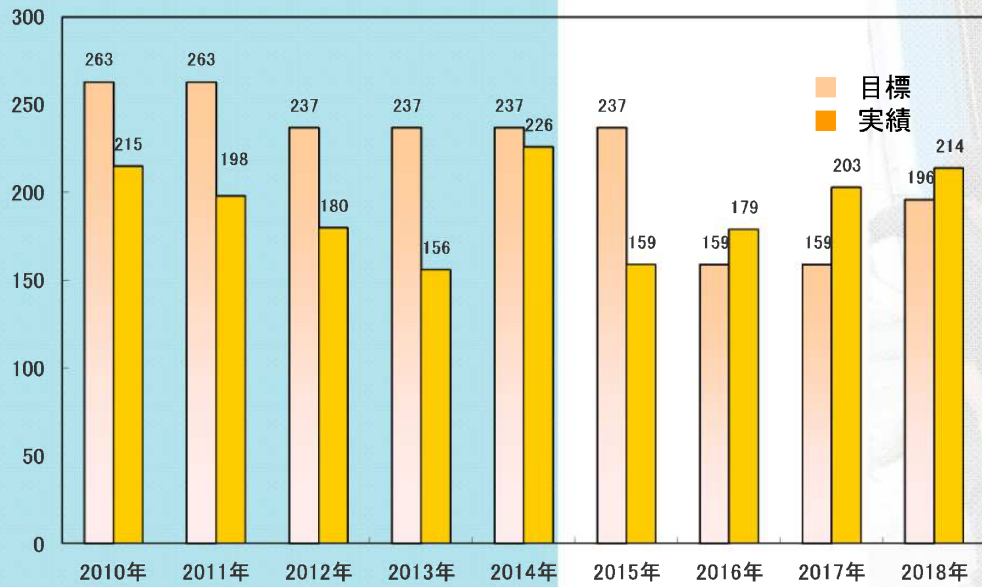


一般廃棄物(t)



## :: 年度目標と実績推移表 ::

総排水量(m<sup>3</sup>)



## ∴ 代表者による全体の評価と見直し ∴

2年ぶりに環境活動事務局が発足し、全社的改善活動へ一歩近づきました。

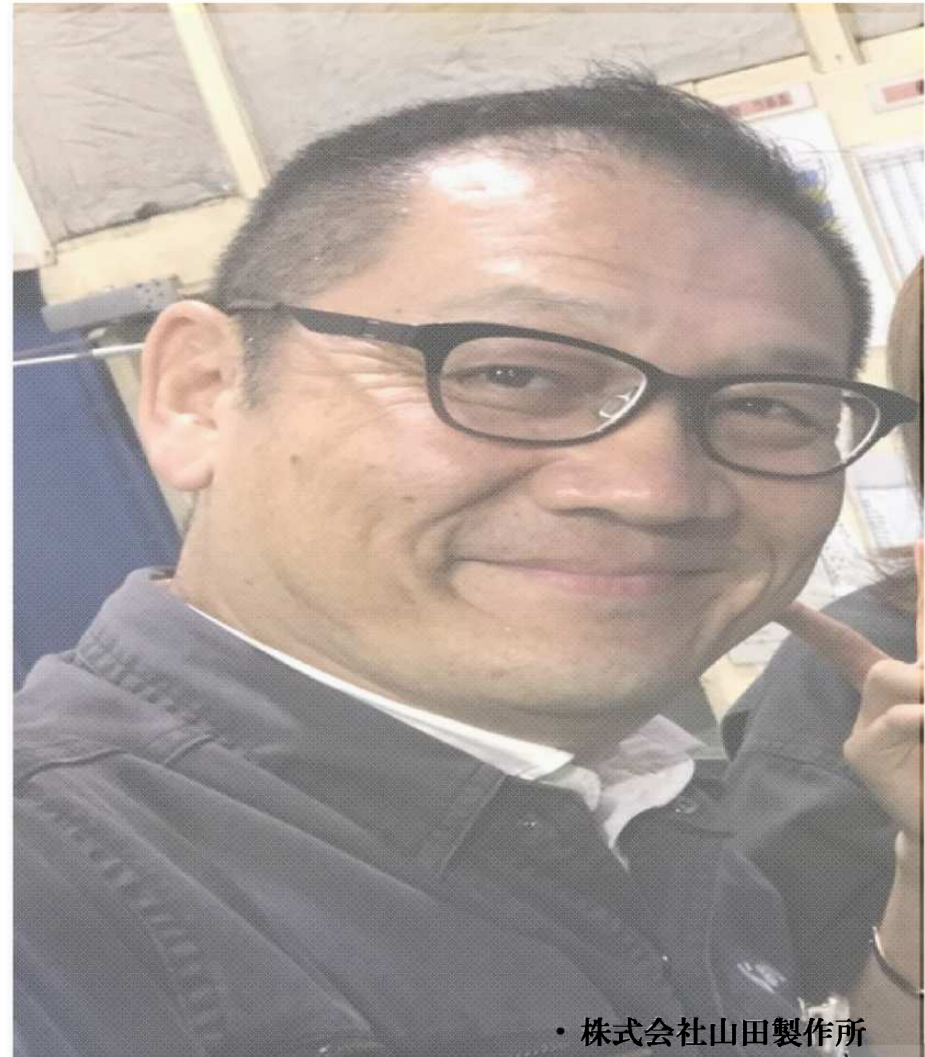
売上目標は、前年対比120.7%を達成し過去最高の数字に近づきました。

しかし、効率的な職場になっているのか？を考えると生産性は高い状態ではありません。  
若手社員のスキルアップが急がれる課題です。

「働く環境づくり」も今日的な課題です。

この2年間の取組で所定外労働時間削減や有給休暇取得率は改善され、大阪労働局のホームページに好事例として採り上げていただきました。しかし、まだまだ改善をしなければなりません。

皆で知恵を絞り仕事の効率を上げそして環境負荷を軽減させることをめざしていきましょう。そのPDCAサイクルを回していきましょう。



・株式会社山田製作所

代表取締役社長

山田 茂

## ∴ 2018年度環境活動の紹介 ∴



**2018年10月6日に全社員参加の  
消防・救命訓練を行いました。**

毎年地元の消防署から隊員の方々に来ていただき、  
・通報訓練・避難訓練・消火訓練そして蘇生訓練とAEDの使用訓練をおこなっています

蘇生に関する訓練内容は年々変わっています。  
実際にその場面となったときに自然と身体が動くように訓練は重要です。

## :: 環境活動の紹介 :: 会社見学受け入れ



## :: 環境活動の紹介 :: 地域清掃



## ∴ 2018年度トピックスの紹介 ∴

山田製作所には、  
日本はもちろん海外からも  
たくさんの方が見学者が訪れます。

2018年の見学会にも、  
世界各国から  
たくさんの方が来てくれました。







**今まで世界の56カ国以上から見学に来ていただいています。**



ご覧いただき、ありがとうございました。  
来期も“徹底した3S”と共に環境活動に取り組みます。